

報告事項

(1)「小学校児童数・学級数及び中学校生徒数・学級数の実績及び推計」について

令和8年5月1日の在籍数をもとに、市内各小中学校の入学率※1・社会増減率※2及び学年進級率※3を加味しながら、令和9年から14年までの推計を算出しました。

6年間で小学生が約8,500人、中学生が約3,000人の減少が予想されています。また、児童生徒の全体数は減少していく予想ですが、特別支援学級に所属する児童生徒数は、平成13年度から令和8年度の推移から、今後も増加していくことが予想されます。

- ※1入学率・・・学区に住んでいる入学前の5歳児や11歳児が、翌年4月に実際に入学した割合
- ※2社会増減率・・・学区に住んでいる3～5歳児や9～11歳児の人数を、その3年前の人数と比較した割合
- ※3学年進級率・・・学年初めの児童生徒数と学年終わりの児童生徒数を比較した割合

<参考>

【令和8年度小学校児童・学級数】

児童数（うち特別支援学級児童数）	27,045（1,401）
学級数（うち特別支援学級数・複式学級数）	1,190（240・25）

【令和8年度中学校生徒・学級数】

生徒数（うち特別支援学級生徒数）	13,694（589）
学級数（うち特別支援学級数）	552（111）

(2)「静岡市立小・中学校通学区域」に係る変更可能区域（調整区域）の静岡市ホームページへの掲載について

現状、「静岡市立小・中学校通学区域」につきましては、静岡市ホームページにて町字名単位で公表しております。ただし、町字内の一部に変更可能区域（調整区域）

（※）含まれている場合は、詳細な番地・住居表示までは掲載していないため、居住場所が変更可能区域（調整区域）に該当するか否かは児童生徒支援課学事係まで問い合わせをしてもらうよう、ホームページ上で案内をしていました。

これは、詳細な情報を掲載することでかえって分かりにくくなり、保護者や学校が通学区域を誤認する可能性があることを懸念しての対応でした。

今後は、保護者や学校の問い合わせに係る手間や、児童生徒支援課職員の問い合わせ対応に係る負担を考慮し、変更可能区域（調整区域）の詳細な番地・住居表示までを掲載した「静岡市立小・中学校通学区域」を、分かりやすく整理した形で公表していくことといたしましたので、ご報告します。